

第1回 安城市民ギャラリー運営委員会（議事録）

令和4年5月20日（金）

午後3時30分～午後5時

歴史博物館 講座室

欠席者なし

1 市民憲章唱和

2 委嘱辞令交付

- ・新任として、神谷恒行委員、公募で決定した山本祐司委員。

3 あいさつ

4 正副会長の選任

- ・互選により、神谷委員を会長、丸山委員を副会長に選任。

5 協議事項

(1) 令和3年度安城市民ギャラリー利用状況について

(2) 令和3年度安城市民ギャラリー事業報告について

	(事務局、指定管理者による説明)
委員	市民公募文化事業美術部門補助金関連について、若手の申し込みがなかなか厳しいようだが、年齢を引き上げたり、幅を持たせるなど考えはないか？
事務局	今年度は募集中だが、次年度は年齢上限や、その中で若い方から補助をするなど検討してもよいかもしれない。
委員	根付くするには時間も必要。いまは応募が少ないが、きっかけにもなるよい制度。いったん条件を試験的に緩めてはどうか応募が増えてくれば精査して条件を戻すとか対応できるとよい。
委員	60歳から良い作品が出てくる傾向がある。若い方を対象にするのもいいが、年齢は上げてよいのではないか。
委員	年齢に関係なく、あればみな助かると思う。
委員	部門にもよるが一応の評価を得るまでにそれなりの年齢になっ

	てしまう。40代までに限定するとなかなか対象者が見つからない。
委員	今後、年齢の幅を持たせて、応募者が増えてきたら精査していいといい。

(3) 令和4年度安城市民ギャラリー事業計画について

	(事務局、指定管理者による説明)
委員	以前の会議で、小中学校に作品募集する企画展において、賞を考 えていただけないかと提案したがいかがですか？
事務局	検討をさせていただいたが、提出された作品は、選出を経て市民 ギャラリーに展示されることで、一定の評価はされているのでこ れ以上ランクを付ける必要はないと考える。絵を描く楽しみに触 れ、額に入れて展示されることでもっと描きたくなるようにとい う目的でやっていきたいと思う。しかし、出品数の減少が懸念さ れるための提案だったと思うので、テーマをわかりやすくし、応 募しやすい工夫を行った。また、入選者にはスケッチブックを差 し上げている。
委員	公募展のようにはっきりとしたランクではなく、入選者には全員 入選賞などがあればというイメージだった。
委員	確かに、子どもにとっては形のあるものは大切だろう。
委員	俳句の応募などでは賞状がある。差を感じるかもしれない。 大人にとって賞状は1枚の紙きれかもしれないが、子どもにとっ ては喜ばしく励みになる。
事務局	皆が励みになれる、入選賞なら、対応が可能かもしれない。
委員	作品審査を頼まれて学校の作品を見る機会があるが、学校によっ て枚数に違いがあり、ばらつきがあるようだ。作品提出にもいろ んな指導の仕方や応募要領があると思うが、モチベーションをあ げ、よいきっかけづくりになったらと思う。
委員	夏休みの宿題応援の企画で、ポスターや絵画の指導があるが、今、 指導が難しいのは、学校によって、タテでなくてはならない、文 字を入れる入れない等の条件を付してくるところがある。募集の

	際には注意してほしい。
委員	夏休みの講座は人気のようだが、定員はもう少し増やせない？
事務局	コロナ禍でもあり、設定人数を少なくしていたためです。これでコロナが収まってくれば、需要もあるので対応していきたい。
委員	子どもたちが芸術に触れる機会を作ることで、その親世代にも影響がある。巻き込んでほしい。
事務局	指定管理の講座では、子ども達を中心に開催しているが、令和5年度には中学校の土日の部活動が無くなることを受け、ギャラリーの美術講座でも中学生が参加できるものを検討していきたい。

委員	市民に近い立場で言わせていただくと、開催情報をうまく届けてほしい。特に市民の展示の情報を、広報折込などで知らせられるといいと思うのだが。
委員	別の施設で、市民展示として1か月展示をしたが後援申請をしていなかったためチラシを置くことを断られたことがある。
事務局	チラシの希望はたくさんあり、後援申請を基準にしている。お手数だが後援申請をお願いしたい。
委員	ギャラリーに届けると、公民館や福祉センターなど全施設に届けて貰える仕組みがあればよいのだが。
事務局	いわゆる情報の一元化というのにもつながる話かもしれない。広報の方法は一度検討したい。

その他

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマネジメント講座のご案内 文化振興計画に基づく。プレスリリースの書き方などは広報の参考になる。 ・市民公募文化事業一覧による開催案内 補助事業（本来主催者ごとPR）だが一覧PRするよう改善した ・市民公募文化事業美術部門の募集協力依頼 <p>今年は引き続きこの事業で若者を応援していきたいと思う。</p>
-----	--